

今井の化石小考

化石は展示物として私たちを楽しませてくれるだけではなく、社会の役に立つ存在です。たとえば、地層に含まれる化石から、その地層ができた時代や環境を知ることができます。この性質は、石油や石炭、天然ガスといった化石燃料を探すのに利用されてきました。また、気候変動や大規模自然災害に対する懸念が高まっている昨今ですが、地球誕生から現在までの約46億年間には、現在より暑かった時代も寒かった時代もありました。巨大な火山噴火や地震・津波なども何度も発生しています。そのような時代の化石を調べることで、今後の気候変動や自然災害によって生態系が受ける影響を推測することができます。現代社会における重要な課題である「生物多様性」をより理解するためには、化石が教えてくれる生物の誕生や絶滅、進化に関する情報が欠かせません。

化石には、他の意味でも重要な役割があります。それは知的好奇心を刺激し、探求や創造の源になる、という役割です。化石の魅力の一つに「不完全さ」があります。生物の遺骸は、化石になる過程で壊れたり、溶けたりしてしまうことが多いです。過去の生物たちの大部分は、化石として残ることなく姿形を失くしてしまうのです。さらに、過去に戻って答え合わせができない以上、化石となった生物について完全に理解することは不可能です。この「不完全さ」が、膨大な量の標本を注意深く観察し、少しでも確からしい姿に近付こうとする、失われた部分に想像の余地を見出し作品へと昇華する、といった探求や創造を生むのではないのでしょうか。

そんな化石に魅力を感じてしまった人物は少なくありません。たとえば、世界的な植物分類学者である牧野富

太郎博士は、化石産地として有名な佐川町出身で、若い頃は熱心に化石を採集していたそうです。ちなみに、博士は背広に蝶ネクタイの正装で調査をしていたことでも知られていますが、このこだわりは一緒に化石を採集した地質研究者の影響を受けたものと言われています。すぐれた詩や童話を残した宮沢賢治は、幼少期から石の収集が趣味でした。彼は、数々の作品に化石を登場させています。彼らの活躍には、化石に触れた経験が活かされているはずで

す。この地球で今後も豊かに暮らし続けるためには、私たちは大地の遺産から地球の歴史や、先人の知恵を学ぶ必要があります。しかし、ここ数十年の地球は「人新世」という新たな地質時代に突入したとも言われています。急激に増えた人類によって、地球環境が過去にないほど大きく改変されている時代です。この新たな時代を生き抜くためには、全く新しい発想や創造も積み重ねていくのも大切かもしれません。大地の遺産であり、なおかつ新たな探求や創造の源である化石は、これからも人々に愛され続けることでしょう。

今までありがとうございました。

3月末を持ちましてジオパーク専門員を退職することとなりました。3年半という短い間ではありましたが、多くの人に助けられ支えられ、充実した日々を過ごすことができました。来年度からは島根県の博物館に勤務しますが、土佐清水の地層や化石の調査も続け、その素晴らしさを広めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。
(今井 悟・ジオパーク専門員)



さらに！ 3月21日(日)は
『化石と過ごす一日』

図書館で今井が化石を、
大地を、語り尽くします！

お問い合わせ・お申し込み
土佐清水市立市民図書館
82-4151

子ども向け！

こども化石研究室 in 土佐清水

化石のレプリカを作ったり、土佐清水の河原の石の中から化石を探したりします。

時間 10:30~12:00 ※熱湯を使用するので、小学校低学年は保護者同伴
定員 15名

どちらかという大人向け！

太古の生命にふれる

土佐清水の化石を中心とした大地のお話と、今井の化石コレクションの観察。

時間 13:30~15:30
定員 15名

開催中！

化石コレクション展

図書館のロビーにて化石コレクションを展示中。土佐清水で採れた貝やウニの化石や生痕化石が並んでいます。

3月25日(木)まで

発行

土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎今芝 4032-2
TEL 87-9590 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

WEB

